

次期計画素案	現行計画	主な変更理由
<p><b>第2章 基本方針と全体目標</b></p> <p><b>1 基本方針</b></p> <p><b>(1) がん患者等を含む道民の立場に立ったがん対策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ がん対策は、がんが道民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状に鑑み、がん患者等を含む道民の立場に立って推進されなければならないことから、基本法及び条例の基本理念に基づき、国はもとより、道、市町村、保健医療福祉関係者、教育関係者、事業者及びがん患者等を含む道民の適切な役割分担の下に、一体となって推進していきます。</li> </ul> <p><b>(2) 総合的かつ計画的ながん対策の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本計画では、より一層実効性のあるがん対策を進めるため、基本計画と本道特有の実情を踏まえ、推進していきます。</li> <li>○ また、<b>がん対策を全ての道民とともに進めていくことが重要であるという考えの下「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての道民とがんの克服」を目指し、がん患者を含めた全ての道民が、がんに関する正しい知識を持ち、避けられるがんを防ぐことや、誰もが、いつでも、どこに居ても、様々ながんの病態に応じた、安心かつ納得できるがん医療や支援を受け、尊厳をもって暮らしていくことができるよう、「がん予防」、「がん医療」、「がんとの共生」を3つの柱とし、多岐にわたる分野の取組を総合的かつ計画的に実施していきます。</b></li> </ul> <p><b>(3) 目標とその達成時期の考え方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本計画では、国のがん対策に関する目標との整合性を図りつつ、全体目標とそれを達成するために必要な分野別施策の個別目標を設定します。</li> <li>○ また、原則として、全体目標と個別目標を達成するために要する期間を設定します。</li> </ul>	<p><b>第2章 基本方針と全体目標</b></p> <p><b>1 基本方針</b></p> <p><b>(1) がん患者等を含む道民の立場に立ったがん対策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ がん対策は、がんが道民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状に鑑み、がん患者等を含む道民の立場に立って推進されなければならないことから、基本法及び条例の基本理念に基づき、国はもとより、道、市町村、保健医療福祉関係者、教育関係者、事業者及びがん患者等を含む道民の適切な役割分担の下に、一体となって推進していきます。</li> </ul> <p><b>(2) 総合的かつ計画的ながん対策の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本計画では、より一層実効性のあるがん対策を進めるため、基本計画と本道特有の実情を踏まえ、推進していきます。</li> <li>○ また、がん患者を含めた道民が、がんの克服を目指し、がんに関する正しい知識を持ち、避けられるがんを防ぐことや、様々ながんの病態に応じて、尊厳を持って、いつでも、どこに居ても、安心かつ納得できるがん医療や支援を受け、暮らしていくことができるよう、「がん予防」、「がん医療の充実」、「がんとの共生」を3つの柱とし、多岐にわたる分野の取組を総合的かつ計画的に実施していきます。</li> </ul> <p><b>(3) 目標とその達成時期の考え方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本計画では、国のがん対策に関する目標との整合性を図りつつ、全体目標とそれを達成するために必要な分野別施策の個別目標を設定します。</li> <li>○ また、原則として、全体目標と個別目標を達成するために要する期間を設定します。</li> </ul>	<p>国の基本計画を踏まえた修正 (国計画P3参照)</p>

## 2 全体目標

### (1) 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

～がんを知り、がんを予防すること、**がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す**～

- がんを予防する方法を普及啓発するとともに、道や関係団体等の連携による取組を推進し、がんの罹患者を減少させます。全ての道民が利用しやすい検診体制を構築し、がんの早期発見、早期治療を促すことで効率的かつ持続可能ながん対策を進め、がん死亡率の減少の実現を目標とします。

【がんによる死亡者数(上段(人))及び75歳未満がん年齢調整死亡率(下段)】  
(出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」)

区分	H29調査値	H30調査値	R1調査値	R2調査値	R3調査値	
北海道	男性	11,095 105.5	11,069 99.8	11,056 95.9	11,109 96.7	11,396 95.6
	女性	8,063 66.1	8,373 66.1	8,369 62.9	8,672 63.7	8,750 65.8
全国	男性	220,398 92.5	218,625 88.6	220,339 86.0	220,989 85.6	222,467 82.4
	女性	152,936 56.4	154,959 56.0	156,086 55.2	157,396 54.9	159,038 53.6

### (2) 患者本位で持続可能ながん医療の提供

～適切な医療を受けられる体制を充実させることで、**がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す**～

- がんゲノム医療をはじめとした高度ながん医療の提供を推進するとともに、患者本位のがん医療を展開することで、がん医療の質を向上させる。また、それぞれのがんの特性に応じたがん医療の均てん化、集約化を進め、効率的かつ持続的ながん医療を提供することで、がん生存率を向上させ、がん死亡率を減少させることを目標とします。
- また、支持療法や緩和ケアが適切に提供される体制を整備することで、全てのがん患者及びその家族の療養生活の質を向上させることを目標とします。

### (3) がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

～がんになっても安心して生活し、**尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の**

## 2 全体目標

### (1) 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

～がんを知りがんを予防する～

- がんを予防する方法を普及啓発し、がんの罹患者を減少させます。道民が利用しやすい検診体制を構築し、がんの早期発見、早期治療を促すことで効率的かつ持続可能ながん対策を進め、がんの死亡者の減少の実現を目標とします。

【がんによる死亡者数(上段(人))及び75歳未満がん年齢調整死亡率(下段)】  
(出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」)

区分	H24調査値	H25調査値	H26調査値	H27調査値	H28調査値	
北海道	男性	10,723 117.5	10,751 113.0	10,927 110.2	11,072 111.1	11,075 108.5
	女性	7,415 66.4	7,702 68.0	7,832 69.7	8,026 68.0	8,104 66.4
全国	男性	215,110 104.6	216,975 102.4	218,397 100.1	219,508 99.0	219,785 95.8
	女性	145,853 60.1	147,897 59.6	149,706 59.7	150,838 58.8	153,201 58.0

### (2) 患者本位のがん医療の実現

～適切な医療を受けられる体制を充実させる～

- がん医療の質の向上、それぞれのがんの特性に応じたがん医療の均てん化・集約化、効率的かつ持続可能ながん医療の実現を目標とします。
- また、患者本位のがんゲノム医療等を推進し、個人に最適化されたがん医療の実現を目標とします。

### (3) 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

～がんになっても自分らしく生きることのできる地域共生社会を実現する～

国の基本計画を踏まえた修正  
(国計画P3参照)

[がん対策推進委員会のご意見を踏まえ修正](#)

時点修正

国の基本計画を踏まえた修正  
(国計画P3～4参照)

**向上を目指す～**

- がん患者や**その家族等**が住み慣れた地域社会で生活をしていく中で、必要な支援を受けることができる環境を整備します。関係者等が、医療・福祉・介護・産業保健・就労支援分野等と連携し、効率的な医療・福祉サービスの提供や就労支援等を行う仕組みを構築することで、**社会的な課題を解決し、がん患者及びその家族等の「全人的な苦痛」の緩和を図ります。**
- これらにより**全ての**がん患者が、いつでも、どこに居ても、尊厳を持って安心して生活し、自分らしく生きることのできる地域共生社会の実現し、**全ての**がん患者及びその家族等の療養生活の質を向上させることを目標とします。

- がん患者が住み慣れた地域社会で生活をしていく中で、必要な支援を受けることができる環境を整備します。関係者等が、医療・福祉・介護・産業保健・就労支援分野等と連携し、効率的な医療・福祉サービスの提供や就労支援等を行う仕組みを構築することで、**がん患者が、いつでも、どこに居ても、尊厳を持って安心して生活し、自分らしく生きることのできる地域共生社会の実現を目標とします。**

**《指標：75歳未満がん年齢調整死亡率》**

(出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計単位：10万対)

区分	現状値 (R3調査値)	目標値	期間
男性	95.6	全国平均値 (各年度で比較) (参考：男性82.4 女性53.6【R3調査値】)	6年間
女性	65.8		

**《指標：75歳未満がん年齢調整死亡率》**

(出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」)

区分	現状値 (H28調査値)	目標値	期間
男性	108.5	全国平均値 (各年度で比較) (参考：男性95.8 女性58.0【H28調査値】)	6年間
女性	66.4		

指標の追加

**《指標：がん年齢調整罹患率》**

(出典：厚生労働省「全国がん登録罹患数・率報告」単位：10万対)

区分	現状値 (R1調査値)	目標値	期間
男性	472.3	全国平均値 (各年度で比較) (参考：男性445.7 女性346.7【R1調査値】)	6年間
女性	375.5		

**《指標：5年相対生存率》**

(出典：国立がん研究センターがん情報サービス「地域がん登録によるがん生存率データ」単位：%)

**※全国がん登録の活用も検討中**

区分	現状値	目標値	期間
男性	59.6	現状値よりも向上 (全部位)	6年間
女性	68.5		

※現状値は、全国がん罹患モニタリング集計 2009-2011年生存率報告 (国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター2020)